

日本共産党大垣市議会議員 はんざわ多美の市政報告

第68号 2022年1月号(新年号)



2022年、明けまして

おめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。今年も、議会活動に市民活動に全力で頑張ります。

さて、今年は新年早々、「市民との協働のまちづくり」課題が山積ですが、ひとつひとつ取り組んでいきます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2021年12月議会での突然の「ゴミ有料化」提案！共産党は反対！

2021年12月議会で、「ごみシール廃止とごみ有料化」の計画(案)が突然出されました。2022年3月議会で、「有料化」のための条例が制定される予定です。計画(案)がだされてたった3か月で、しかも市民アンケートで市民の声を聞くことなく、条例制定にこぎつけようとするやり方で良いのでしょうか。

(12月議会に報告された条例案)

12月議会で出された条例案は、以下の通り。現行は市の責任において、税金で回収処理するという方針であり、これを大きく転換することになります。

可燃ごみ (大)	1袋	50円
	(小) 1袋	30円
不燃ごみ	1袋	50円

ごみ減量化を推し進めるという目標には、大きく賛同します。しかし、有料化ありきの今回の提案にはストップをかけたいと思います。また、今回は、不燃ごみについての有料化もあわせて計画されています。

日本共産党が考える条例制定の問題点

- 1 ごみ有料化に対しする市民アンケートなどを行うことなく、推し進めようとしています。議員にすら、ゴミ袋の金額も知らされていませんでした。実質市民負担を求める増税に類する案件です。こうした民主主義軽視の姿勢でよいのかと大きな疑問を感じます。
- 2 この間、大垣市が市民との協同で行ってきたリサイクル政策が廃止縮小されてきました。リサイクルへの市の責任を後退させながら、「有料化するとゴミが減る」という動機付けでこの計画を進めることには驚きです。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

リサイクルプラザ	2020年3月終了
ダンボールコンポスト補助	2021年4月縮小
生ごみ処理容器等購入事業補助金	2021年4月縮小
資源分別回収事業奨励金(戸別方式のみ)	2022年1月縮小

しんぶん 赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 930円

3 この計画では「有料化すると 8%ごみ減量できる」という環境省の資料を引用していますが、一方で、有料化せずにごみ減量化のためのリサイクル活動を市民と協同で進める自治体は、有料化する自治体と同じ程度のごみ減量化の成果をだしています。 有料化がごみ減量化の絶対要素ではないことは、全国の自治体が証明しています。岐阜市は、有料化していません。しかも、来年度からリサイクルセンターを改築して、リサイクル事業を本格化させます。他自治体の例からも有料化の根拠は、不十分なものと言わざるをえません。

大垣公園の芝生広場が使えない！？拙速な大垣城ホール移転に反対！

12月議会教育福祉委員会（12月10日）で、「大垣城ホール及び市民会館の今後の在り方（方針）について」の報告がありました。今回の報告は、城ホールと市民会館の大筋の方向性が出されたものでした。しかし、この方針についての市民への聞き取りアンケートや説明がまったく体をなしておらず、市民を置き去りにした拙速な大垣市行政といわざるをえません。今回出された方針は、以下です。

- ①大垣公園内（国有地を活用）において、大垣城ホールの改築を実施
- ②市民会館は、老朽化や耐震性、維持管理費等に課題があり解体
- ③市民会館の機能の一部を併せ持つ新たな「大垣城ホール」を整備検討

《市政報告会》

■ 西地区センター

1月10日（月・祝日）

10時~11時

■ 興文地区センター

1月22日（土）

10時~11時

スケジュール（予定）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
遺構の発掘調査	試験 本発掘					
基本構想策定 基本設計・実施設計 (公園整備の検討を含む)	基本構想	基本設計	実施設計			
改築工事				工事		
供用開始					準備 供用開始	
現大垣城ホールの解体工事 (武徳殿を含む)				設計	工事	
市民会館の解体工事		設計 廃止	工事			



日本共産党が考える計画案の問題点

これまでの議論としては、大垣城ホールは飛行機格納庫を現在の場所に移動し約70年が経過、市民会館は50年が経過し、どちらも老朽化と耐震性に課題がありました。2017年3月に市は「公共施設等総合管理計画」を策定し、老朽化する大垣市の施設を集約、規模の縮小、廃止を検討となっています。そうした流れの中、2021年8月に「大垣城ホール・市民会館あり方検討プロジェクトチーム」が設置され、厳しい財政事情なども考慮しながら、今後の在り方を検討するとしていました。このプロジェクトチームは市職員だけで構成され、市民代表は一人もはいていません。このプロジェクトチームの議論は非公開で、議員も情報を得ることができていません。

市民の憩いの広場「大垣城芝生広場」が長期間にわたって使えなくなる

議会後、興文校下の自治会長ですら、今ある大垣公園の芝生広場をつぶして改築することを知らなかったことも判明しました。市民からは、「この場所に建て替えた際の駐車場はどうするのか」「工事期間が長すぎないか」「芝生広場の代替はあるのか」「1000人規模収容の市民会館機能を兼ね備えるというが、そうしたことは可能なのか」「大垣城を中心とした景観が崩れるのではないか」「この場所を選ぶ納得いく説明を」という声があがっています。市民的な議論の中で、今後の計画を進める必要性を感じています。ぜひ皆さん、声をお寄せください。